

■鈴木貫太郎 海軍軍人、政治家。<二二六事件>で襲撃受けるも、<敗戦>時の首相として、ポツダム宣言を受諾した。

すずきかんたろう

大政奉還・・1867＝ 和泉国(大阪府)で地方官吏の長男に生まれた。

明治維新・・1868＝ 1歳：

明治6年政変 1873＝ 6歳： 父の転任に従って、千葉・群馬に移住、

三つの反乱・1876＝ 9歳：

明治14年政変1881＝14歳：

内閣発足・・1885＝18歳：

国民之友始・1887＝20歳：_海軍兵学校(14期)卒業。

帝国憲法発布1889＝22歳：海軍少尉、

日清戦争始・1894＝27歳：_水雷艇の艦長として日清戦争に従軍。

子規句歌革新1898＝31歳：_海軍大学校を卒業ののち、

ドイツ駐在武官などを経て、

日比谷公園・1903＝36歳：

日露戦争終・1905＝38歳：_駆逐隊の司令として日露戦争の日本海海戦に参加し、水雷戦の権威となった。

その後、諸艦の艦長から、

明治天皇没・1912＝45歳：

海軍兵学校長、艦隊司令長官、呉鎮守府司令長官などを歴任し、

原敬首相暗殺1921＝54歳：

関東大震災・1923＝56歳：_海軍大將に昇進、

護憲三派圧勝1924＝57歳：_第一艦隊司令長官兼連合艦隊司令長官、

治安維持法・1925＝58歳：_海軍軍令部長となった。

世界恐慌・・1929＝62歳：_*予備役となり、侍従長兼枢密顧問官に就任。

海軍軍縮条約1930＝63歳：_ロンドン海軍軍縮条約調印を支持し、

満州事変・・1931＝64歳：

_そのため青年将校らに"君側の奸"との反感を買い、

二二六事件・1936＝69歳：_*二・二六事件では襲撃されて重傷を負い、侍従長を辞任。

日中戦争始・1937＝70歳：

第二次大戦始1939＝72歳：

大政翼賛会・1940＝73歳：_枢密院副議長、

日米開戦・・1941＝74歳：

年金+総武装 1944＝77歳：_同議長となり、

敗戦・・・・1945＝78歳：_*宮中グループから首相に推され、高齢を理由に固辞した後、就任。沖縄戦での敗色濃いなかで本土決戦体制への強化を図る一方、"国体護持"の目標で対ソ交渉による終戦工作を図った。ポツダム宣言に対しては黙殺声明を発表したが、原爆投下、ソ連参戦によって、同宣言を受諾。戦後、再度枢密院議長となって、

樞東裁判決・1948＝81歳：_没した。

「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、